

## おこづかい帳を記録してみよう!! —欲しいもの、買いたいものを得るために 自分でお金のやりくりを体験させる事例—

(総授業時数：3時間)

### 実施学年、教科等

第3学年 特別活動「学級活動」

### 単元の目標

- (1) 自分で実際にお金をやりくりする体験を通して、やりくりの仕方を身に付け正しいお金の使い方について考えることができるようにする。
- (2) お金を管理することの大変さを感じ取り、お金を使うには責任が伴うことを理解できるようにする。
- (3) 体験を通して、貯金することの大切さに気付くことができるようにする。

### 学習の評価

- (1) 自分の取り組みの成果と課題を見つけ、正しいお金の使い方について考えている。(ワークシート・おこづかい帳)
- (2) 自分のお金の使途に関心を持ち、おこづかい帳を記入することに意欲を高めている。(おこづかい帳)
- (3) おこづかい帳の記入の仕方を身に付け、貯金の大切さを理解している。(おこづかい帳)

### 展開の特色

- (1) おこづかい帳には、収入・支出・貯蓄といった3つのお金もつ面を管理する機能がある。
- (2) おこづかい帳の記入の仕方を学びながら毎月限られた金額をやりくりする。
- (3) 繰り返し欲しいものと必要なものとを分けて考える経験によって、自らの欲望を抑える心が児童に芽生えてくる。
- (4) 貯金という行為から、児童は何のためにお金を使うのか目的意識をもつことができる。
- (5) お金に対する責任感を学ぶだけでなく、本単元の実践を通して社会秩序や道徳的側面など生活全般を学ぶことができる。

### その他

- (1) 学習の趣旨、内容などを事前に保護者会などで説明し家庭の理解を得る。
- (2) 開始時期(例：お年玉の時期、3学期)など協議し連携が図れるよう協力を依頼する。取り組む時期として、いつがよいかなど保護者会などで話題として取り上げる。
- (3) 一定の期間、おこづかいを定額で児童に与え、収支、決算させる活動に取り組ませていただけるようお願いする。
- (4) 次の資料を金融広報中央委員会から取り寄せることができる。
  - ・『こづかい帳(おこづかいきろく)』(児童用)
  - ・『10代のためのマネー入門—お金と消費生活の知識—』(教師用)
  - ・『くらしとおかね』2006年夏号 知るぽると特集「いまだきの“子どもお金事情”」(教師用)

### 「学校における金融教育の年齢層別目標」の該当項目

\*記号については、P.32～45を参照。

Aーア・イ・ウ、Bーア、Cーア

### 学習内容のキーワード

おこづかい帳、買い物、欲しいものと必要なもの、収入・支出・貯蓄、目的意識

1 金融教育のねじりと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に際して

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

## ●指導計画

時数	ねらい	●学習活動	・学習内容	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他(資料等)
1	おこづかい帳でお金を管理することの大切さを学ぶことができる。	●おこづかいについて、関心をもつ。 ・おこづかいとは何なのか ●おこづかいの管理の仕方について考える。 ・財布 ・貯金箱 ●資料を読み取りながらおこづかい帳の役割を知る。 ・お金の流れ	・自分にとってのお金の意味 ・おこづかい帳	◆お金の役割を考えさせ、お金の使い方はその人の生き方を表すものであることをつかませる。 ◆欲しいものを買うためにどうするかを考えさせたり、おこづかいを管理するためには必要なものがあることを考えさせたりする。 ◆小学生なりに消費者としての自覚を育てる。	★学習全体の流れを児童に示し、見通しをもたせる。 ★おこづかい帳でできることを予想させる。 ★おこづかい帳の役割は「入ったお金」「出たお金」「残ったお金」の管理であることに気付かせる。	・『おこづかいきろく』P.2
2	買い物ごっこを通しておこづかい帳を記録することができる。	●お金で買い物した経験を発表する。 ・お手伝いの経験 ●ワークシート上の店で買い物をし、おこづかい帳に記入する。 ・購入 ・支払い ●一定期間おこづかい帳を記入する上でのルールを知り、目標を設定する。 ・おこづかい帳の記入のルール	・買い物経験 ・収支決算 ・目標作り	◆所持金となるおこづかいの金額を決め、買い物ごっこをさせる。 ◆おこづかい帳での収支決算の仕方を学ばせる。 ◆お金を使う際のルールを考えさせる。	★「買い物ごっこ」をするために商品のイラストや値段が書かれたワークシートを用意する。 ★場合によっては、予算を決め授業の中で買い物に出掛けることも考えられる。	・ワークシート ・『おこづかいきろく』P.1
3 本時	活動を振り返り正しいお金の使い方について考えることができる。	●おこづかい帳を記録する活動について振り返る。 ・感想の発表 ●自分のおこづかいの使い方の傾向を知り使い方について考える。 ・使い方の傾向 ●これからのよりよいお金の使い方について話し合う。 ・よりよいお金の使い方の目標設定や発表	・買ったものが必要なものだったのか	◆自分のおこづかいの使い方の傾向をつかませる。 ◆お金の使途が必要なものと欲しいものに分けられることに気付かせる。 ◆貯蓄の働きや大切さに気付かせる。 ◆お金の上手な使い方を考えさせる。	★おこづかいを計画的に使うにはおこづかい帳で管理していくことが有効かつ必要なことであることに気付かせる。	・道徳資料 「おこづかい」

## ●本時の展開

**本時の目標**  
 ア：おこづかいの使い方の傾向を知り、使途が必要なものと欲しいものに分けられることに気付けるようになる。  
 イ：上手なお金の使い方を自分なりに考えることができるようにする。

	●学習活動	・学習内容	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他
導入	●これまでの活動を振り返り本時のめあてを確かめる。	・おこづかい帳に記入した感想の発表	◆おこづかい帳のよさや課題、役割に気付かせる。	★よかったことや大変だったことなどを自由に発表させる。	
展開	①自分のおこづかいの使い方の傾向を調べる。	・おこづかいの使い方の傾向調べ	◆おこづかいの使い方の傾向をつかませる。 よかったのかどうかを振り返らせる。	★学校関係のもの、食べ物、趣味、その他など視点を設けて色分けさせる。	・『おこづかいきろく』
	②買ったものが本当に必要なものであったかについて考える。	・必要なものかどうかの振り返り	◆お金の使途が必要なものと欲しいものに分けられることに気付かせる。	★2年生の道徳で学習した「おこづかい」の話に登場する3匹のぶたを想起させる。	・道徳資料 「おこづかい」
まとめ	●資料を読みこれからのよりよいお金の使い方について話し合う。	・これからのお金の使い方の目標設定や発表	◆お金の上手な使い方を考えさせ、貯蓄の大切さにも気付かせる。	★計画的にお金を使うためにはおこづかい帳が有効であることに気付かせる。	

1 金融教育のねらいと基本的性格  
 2 金融教育の目標と方法  
 3 金融教育を支援する関係機関等の活動  
 4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて  
 5 小学校における金融教育  
 6 中学校における金融教育  
 7 高等学校における金融教育  
 資料

1 金融教育のねらいと基本的性格  
 2 金融教育の目標と方法  
 3 金融教育を支援する関係機関等の活動  
 4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて  
 5 小学校における金融教育  
 6 中学校における金融教育  
 7 高等学校における金融教育  
 資料

●教材・資料等 (本時の授業で用いる教材や資料、ワークシート等)

《こづかい帳 (おこづかいきろく)》

1 校時 / P.2

**この本の使い方**

毎月はじめに何月かを記入しよう。

今月の目標を書こう。

日付けを書きこむのだ。

「おこづかい」、「ノート代」など何をしたのかを書くのじゃ。

もし何に使ったか忘れてしまったら、おかねの金額だけでも書いておこう。

とにかく書き残していくことが大切じゃ。わからないところは？や自分で考えたマークなどを書いておいた方がよいな。

自分で1か月のおこづかいきろくを「がんばりシール」を使ってふりがえてみよう。

今月の目標

今月のおかね

日	おこづかい	お金の入り	お金の残り
1	おこづかい 1500	1500	1500
3	ノート 120	1380	1380
9	マンガ 400	980	980
10	おかし 60	920	920
12	ほぎん 100	820	820
?	?	620	620
15	おばいちゃんから 500	1120	1120
16	おかし 80	1040	1040
17	ふれせんと 300	740	740
19	マンガ 400	340	340
21	おかし 50	290	290
24	ガチャポン 100	190	190
28	おかし 30	160	160
30	けしごも 50	110	110
合計	2000	1890	110

もらったおかねの金額を書こう。

つかったおかねの金額を書こう。

残ったおかねの金額を書こう。

それぞれのおかねの出し入れについて、おうちの入にサインをもらおう。

毎月最後におうちの入に感想を書いてもらおう。

それでは、この本の使い方を説明していこう。書き方がわからなくなったら、いつでもこのページを見てくれ。

2 校時 / P.1

**おかね師匠からのお願い**

- 1 物を買うときは、よく考えてから買うこと。
- 2 物は大切に扱うこと。なくしてばかりだとむだづかいの元になってしまうぞ。
- 3 友だちとおかねの貸し借りはしないこと。
- 4 こまっている人々を助ける募金活動に協力してみよう。

おこづかいの記録をつける前に、わしと約束してほしいことじゃ。おかねは大切なものだから、しっかりと守ってほしい。

募金するときは大人に相談しようね。

※ 道徳資料「おこづかい」については、本書の「小学校における金融教育 (3) 指導計画例 道徳」を参照してください。

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料